

# 平成29年度事業報告書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会

## 1 事業の成果

復興支援事業として福島県伊達市霊山町におけるバイオマス利活用活動は継続しており、新たなメタン発酵装置、竹炭製造装置の試作公開など普及に向けた活動を進めている。

インドネシア ロンボク島セリウエ（SERIWE）プロジェクトでは再生可能エネルギーを用いた海藻加工工場が完成し、工場運営、製品の製造、販売等地元協同組合への管理移管が終了した。

インドネシア西ジャワ州Tangsi Jaya村でのコーヒー農園プロジェクトではコーヒー豆加工工場が完成、新たにコーヒーの木植え付けも増大し本格的な製造体制が確立した。また小水力発電活用による加工製品（焙煎コーヒー豆、コーヒー粉）の製造及び販売ルートも確立しつつあり、売り上げ収入による地域創成、活性化が具体化してきた。

再生可能エネルギーについての普及啓発事業は、通例講演会、特別講演会、セミナー等精力的に行い、視察ツアー、出張授業（伊達市小国小学校と連携）等を実施し、その内容は当協会ホームページにおいて逐次情報発信した。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
霊山プロジェクト	■霊山の実験場は新たに1000リットル容量の生ごみのメタン発酵装置、500リットル可搬式メタン発酵装置、竹炭製造装置などが加わり充実。東北大学大学院農学研究科 多田千佳准教授を迎えて講演会実施。避難解除がなされた飯舘村の状況を視察した。	平成29年5月1日～9日 平成29年5月20日	福島県伊達市霊山町下小国、福島県相馬郡飯舘村	30人	20人	20
	■現地霊山プロジェクトのメンバーを中心とした福島第一原子力発電所の廃炉作業状況を視察した	平成29年10月27日～ 平成29年10月28日	福島県双葉郡富岡町本町、福島県伊達市霊山町下小国	20人	10人	20

<p>インドネシア ロンボク島セリウエ (SERIWE) プロジェクト</p>	<p>■ロンボク島セロン (Selong)町の東チーモール州中小企業庁にて、庁関係者、海洋漁業局、プロジェクト関係者 (ダルマプルサダ大学、地元マタラム大学、セリウエ村組合長並びに関係者) 等約50名以上が参加しワークショップが開催された。ダルマプルサダ大学Kamaruddin教授のプロジェクトの紹介、セリウエ村漁業組合長Syafuddin氏の工場運営状況・課題、マラム大学からの海藻加工品に対する製品改良、品質向上などの現状と今後の取り組みが説明された。これに対し企業局、漁業局等が課題を認識・共有し、協力していくことを約した。</p>	<p>平成29年4月1日～平成30年3月31日</p> <p>平成29年9月10日～平成29年9月16日</p>	<p>インドネシア⇄日本SKYPE打合せ</p> <p>インドネシア ロンボク島</p>	<p>8人</p>	<p>30人</p>	<p>—</p>
<p>インドネシア コーヒー農園 (Tangsi Jaya) プロジェクト</p>	<p>■7月にはコーヒープロセスセンタの建設が完成しコーヒー豆の殻むき機、皮むき器、洗浄機、乾燥機、分級機等が設置、試運転調整が完了し、現地コーヒー農園スタッフに対しダルマプルサダ大学 (DPU) スタッフがコーヒー豆の焙煎及び小型コーヒーマルによる豆挽きの研修を行った。ここで作られたコーヒー豆はTangsi Wangi (タンギスの香り) というブランドで新しいパッケージに詰められ近隣の販売網へ出荷されつつある</p> <p>■コーヒー農園では2016年9月に500本の木を植えられており、2018年2月には2000本を植えているが、それぞれ順調に生育しており、今年4月からのコーヒープロセスセンタ本格稼働に貢献する。</p>	<p>平成29年4月1日～平成30年3月31日</p> <p>平成29年9月10日～平成29年9月16日</p>	<p>インドネシア⇄日本SKYPE打合せ</p> <p>インドネシア 西ジャワ州</p>	<p>8人</p>	<p>30人</p>	<p>—</p>

普及啓発・セミナー	<p>■総会に合わせた講演会の実施</p> <p>講演1 多田千佳様 東北大学大学院農学研究科 准教授 「2020 東京オリンピック・パラリンピックの聖火をバイオメタンで燃やそう！」</p> <p>講演2 今泉亮平様 日本ユニテック株式会社 代表取締役社長 「ドイツの環境・エネルギー最新事情」</p> <p>講演3 堀内道夫様 光と風の研究所 代表取締役 「本格的実用化となったスターリングエンジン」</p> <p>講演4 雨宮隆様 日本工業大学 ものづくり環境学科 教授 「環境リサイクル技術の動向」</p>	平成29年6月3日	東京都千代田区一番町区民館	20人	30人	20
	<p>■REPA新春特別講演会</p> <p>第一部竹村公太郎氏による講演：「日本文明と新エネルギー」。</p> <p>第二部は児玉博氏による講演：「企業の栄枯盛衰と経営者の判断」</p>	平成30年1月20日	東京都文京区湯島全国家電会館	20人	80人	80

普及啓発依頼 講演・出張授 業	<p>■(公社)腐食防食学会が主催する環境-エネルギーフォーラム 2017 in 福島の講演会が開催され当協会の佐藤茂夫理事の基調講演で、霊山 PJ でのメタン発酵の仕組み、運転データ等を紹介。またパネルディスカッションでは、当協会の尾園次郎代表理事が NPO として霊山での活動状況を紹介。</p>	平成29年7月4日	福島県福島市「コラッセふくしま」	4人	100人	—
	<p>■第1回適性技術フォーラム公開セミナー 当協会の尾園次郎代表理事が現在進めている「再生可能エネルギー利用による村民のいきがい創出-インドネシアにおける海藻加工、コーヒー農園の事例から」を紹介した。</p>	平成30年2月24日	東京都渋谷区 JICA 東京国際センター	2人	50人	—
	<p>■里山活性化講演会 「脱温暖化プロジェクトせら」主催の「里山活性化講演会」で、当協会の堀内道夫理事が「我国の竹利用と今後の展望」を講演し、当協会の市橋利夫理事が「木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業」(2013~2015 年度 林野庁/環境省 委託事業 千葉県)の紹介を中心に講演を行った。</p>	平成30年2月27日	広島県世羅郡世羅町	2人	50人	—
	<p>■小国小学校での出前授業 岩手大学理工学部 システム創成工学科 小林宏一郎教授をお招きし、小国小学校 5, 6 年生 7 名に対し「なぜ身体の中に電気が流れているか」というテーマで、授業、実験を行った。</p>	平成29年12月7日	福島県伊達市 霊山町下小国小国小学校	6人	10人	20

(2) その他の事業  
特になし

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)

**平成29度活動計算書**  
平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

特定非営利活動法人再生エネルギー推進協会

(単位:円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
<b>I 経常収益の部</b>		
1.会費収入		
正会員会費	132,000	
一般会員会費	21,000	
賛助会員会費	80,000	
講演会費	0	
会費収入小計		233,000
2.寄付金収入		
寄付金収入	0	
寄付金収入小計		0
3.助成金等収入		
助成金等収入	0	
助成金等収入小計		0
4.事業収入		
一般受託収入	0	
事業収入小計		0
5.雑収入		
受取利息	0	
その他収入	53,000	
雑収入計		53,000
6.繰越金		
普通預金		0
経常収入合計		286,000
<b>II 経常費用の部</b>		
1.事業費		
1-1旅費交通費	0	
1-2通信運搬費	0	
1-3諸謝金	0	
1-4消耗品費	0	
1-5賃借料	0	
1-6水道光熱費	0	
1-7広告費	0	
1-8租税公課	0	
1-9展示会費用	0	
1-10委託費	0	
1-11燃料費	0	
1-12借入金返済	0	
1-13会議費	0	
1-14雑費	0	
1-15その他	0	
事業費小計		0
2.管理費		
2-1旅費交通費	66,240	

2-2通信運搬費	31,145		
2-3諸謝金	70,000		
2-4消耗品費	7,080		
2-5賃借料	0		
2-6水道光熱費	0		
2-7広告費	0		
2-8租税公課	0		
2-9展示会費用	0		
2-10委託費	0		
2-11燃料費	0		
2-12借入金返済	0		
2-13会議費	43,093		
2-14雑費	3,865		
2-15その他	0		
2-16交際費	35,344		
管理費小計		256,767	
3.その他			
その他	0		
		0	
経常支出合計			256,767
経常収支差額			29,233
Ⅲ経常外支出の部			
支払利息	0		
経常外支出合計		0	
当期収支差額			29,233
前期繰越収支差額			247,992
次期繰越収支差額			277,225
(正味財産増減の部)			
Ⅳ正味財産減少の部			
1資産増加額			
当期収支差額		29,233	
増加額合計			29,233
当期正味財産増加額			29,233
前期繰越正味財産			247,992
当期正味財産合計			277,225

平成29年度 貸借対照表  
平成30年3月31日現在

特定非営利活動法人再生エネルギー推進協会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金	276,596	
現金	629	
未収入金	0	
流動資産合計		277,225
資産合計		277,225
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
流動負債合計		0
負債合計		0
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		247,992
当期正味財産増加額		29,233
正味財産合計		277,225
負債及び正味財産合計		277,225



## 平成29年度 計算書類に対する注記

平成30年3月31日

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会

1. 重要な会計方針  
(1) 資金の範囲について  
資金の範囲には、現金・預金及び借入金等を除く短期金銭債権債務等を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に掲載するとおりである。
2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	247,992	277,225
未収金	0	0
合 計	247,992	277,225
前受金	0	0
預り金	0	0
長期借入金	0	0
未払い金	0	0
合 計	0	0
次期繰越収支差額	247,992	277,225

3. 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳  
特になし
4. 用途等が制約された寄附金等の内訳  
特になし
5. 固定資産の増減内訳  
特になし
6. 借入金の増減内訳  
特になし
7. 役員及びその近親者との取引の内容  
特になし
8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするため  
特になし

## 平成29年度 財産目録

平成 30年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
普通預金 三菱東京UFJ銀行野方支店	97,239	
普通預金 川崎信用金庫登戸支店	8,260	
普通預金 川崎信用金庫本店	745	
普通預金 ゆうちょ銀行・郵便振替口座	170,352	276,596
手元現金	629	629
流動資産合計		277,225
2 固定資産		
(1)有形固定資産	0	
(2)無形固定資産	0	
(3)投資その他の資産計	0	
固定資産合計		0
資産合計		277,225
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
流動負債合計		0
2 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		277,225

平成29年度 年間役員名簿

平成29年 4 月 1 日から 平成30年 3 月 31 日まで

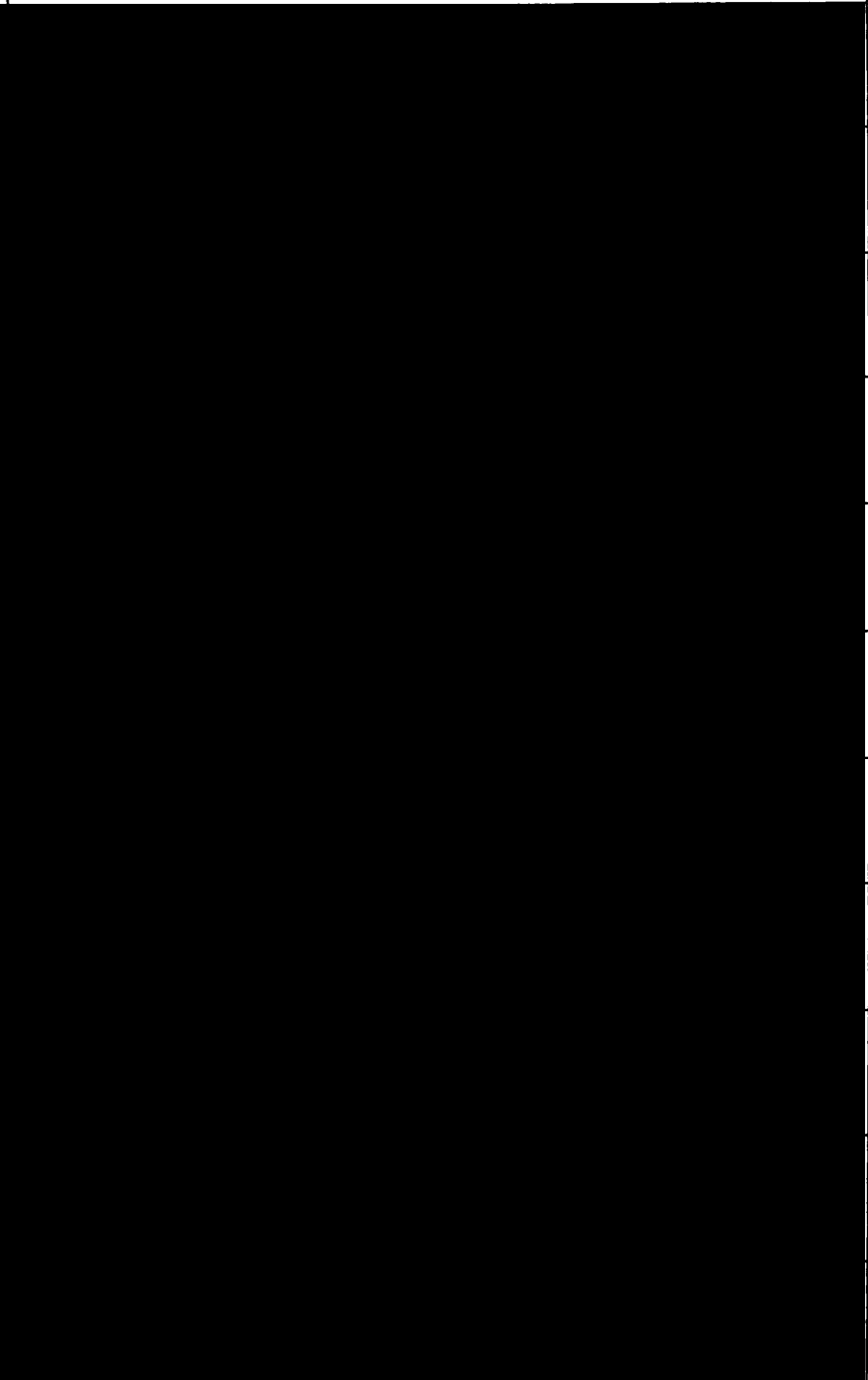
特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

役名	氏名	住所又は居所	就任期間	報酬を受けた期間
理事	佐藤 茂夫		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	富成 研一		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	佐藤 和雄		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	木村 秀文		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	堀内 道夫		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	尾園 次郎		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	奥村 実		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
理事	林原 典生		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日
監事	小野裕貴		29年4月1日 ～30年3月31日	年 月 日 ～ 年 月 日

## 社員のうち10人以上の者の名簿

平成30年 3 月 31日現在

特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会

	氏 名	住 所 又 は 居 所
1	佐藤茂夫	
2	尾園次郎	
3	奥村 実	
4	富成研二	
5	佐藤和雄	
6	木村秀文	
7	堀内道夫	
8	林原典生	
9	野澤宇太造	
10	遠藤幸子	
11	保坂英夫	

## 監査報告書

特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会  
代表理事 尾園 次郎 殿

平成 30 年 5 月 7 日

監事 小野 裕喜

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会の平成 29 年度（平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行った。

監査の結果、法人の業務は法令及び定款に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人 再生可能エネルギー推進協会の平成 30 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上